令和５年度　熊川小学校スクールプラン

児童の実態
- 何事も真面目に取り組む
- 友達を大切にする
- 切磋琢磨する機会が少ない

保護者や教師の願い
- 主体的に行動してほしい
- 自己肯定感を高めてほしい
- 地域に貢献できる人になってほしい

【校訓】（五条の教え）
反省　素直　努力　奉仕　感謝

【学校教育目標】
自ら考え行動する
～笑顔あふれる学びをつなげて～

【めざす学校像】
笑顔あふれる学校
安心安全な学校
地域に愛される学校

【めざす教職員像】
学び続ける教職員
よさを出し合いつながる教職員
信頼される教職員

【研究主題】 自ら進んで学ぼうとする児童の育成
～笑顔でつながる児童主体の学び～

【めざす児童像】

よく考える子	人も自分も大切にする子	チャレンジする子

【重点目標】

すすんで学び、表現・行動する	自他の笑顔につながる行動をする	可能性を広げる行動をする

【具体的取組】

- 問いを持ったり自分の考えと比べたりしながら聴き、積極的に反応・表現できるような場の設定と手立てを工夫する。（ICT 活用、他校との交流）
- 基礎基本の定着を図るとともに、振り返りを重ねることを通して、活用力の向上を図る。
- 様々な活動で、児童が創意工夫しながら主体的に活動する場面を多く設定する。

- 人権教育の日常化を図り、安心して楽しく通える学校づくりに努める。（国際理解、多様性）
- 人とのつながりの中で、自分を大切にし相手を大切にする集団づくりに努める。（ふるさと学習等）
- 進んであいさつができるよう、児童会が主体となって取り組む。
- スマートルールについて、児童の取組が定着につながるよう、家庭や地域と連携する。

- 学期や行事などの機会ごとに設定した自分の目標達成に向けて、具体的な行動をイメージしながら振り返り、努力を続ける習慣をつける。
- 児童の挑戦を支える場の設定を工夫する。
- レジリエンス（回復力、しなやかさ）を高める働きかけを行う。
- 読書活動の工夫により時間を保障し、読解力の向上を図る。

【数値目標】

- 問いを持ったり自分の考えと比べたりしながら聴き、すすんで自分の考えを発表することができた。（90%）
- 学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を振り返り、次の学習につなげることができた。（90%）
- 様々な活動で、自分で考えたり工夫したりしながら活動することができた。（90%）

- 毎日学校へ行くのが楽しい。（85%）
- 悪口や仲間外れがなく、いじめのない学校だと思う。（90%）
- 進んであいさつをすることができた。（90%）
- 家や学校で決めたスマートルールを守ることができた。（85%）

- 具体的な行動をイメージしながら振り返り、目標に向かって努力を続けることができた。（90%）
- 自分のやってみたいこと（苦手なことも含む）に、くり返し挑戦することができた。（80%）
- 失敗から学んだり、困難の受け止め方を工夫したりして、次の一歩につなげることができた。（85%）
- 学校や家で、たくさん本を読むことができた。（85%）

【家庭・地域との連携】　信頼される学校づくり
- 保護者が相談しやすい雰囲気づくり
- 地域、保護者と共にする学習活動や地域との体験活動の推進
- 学校だよりやブログ等による積極的な情報発信

【業務改善の取組】
- 校内業務改善推進委員会の設置
- 地域の人材活用
- 定時退勤の推進